

第1章

パソコンの基礎知識

1. パソコンの基本構成
2. フロッピーディスク
3. CD-ROM
4. キーボード
5. マウス

この章では「キー入力練習プログラム」を使ってキー入力練習を始める前に、知っておいた方がよいパソコンについての基礎知識を学習します。

1. パソコンの基本構成

(1) パソコンシステム

一般的なパーソナルコンピュータ（パソコン）は、図1-1に示すようにパソコン本体、ディスプレイ、キーボード、マウス及びプリンタにより構成されています。

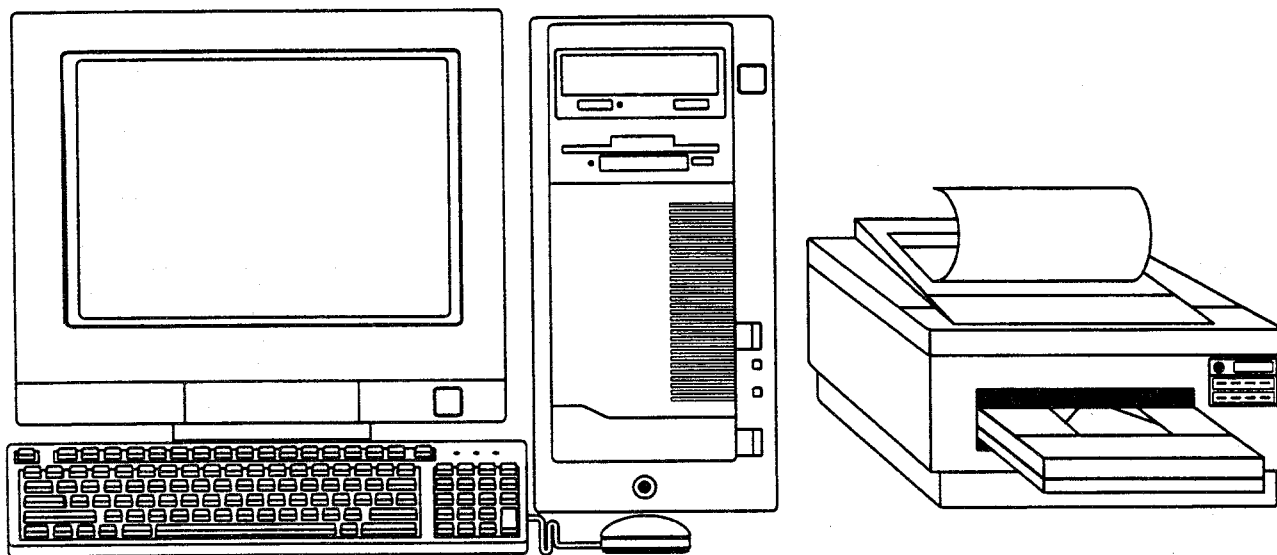


図1-1 パソコンの基本構成

a パソコン本体

図1-1の中でパソコン本体は、どれでしょう?!……実は、図1-2の部分が、パソコン本体なのです。

データ処理、計算、プログラムの実行などを行うCPUという部分などが入っている部分で、パソコンの中心的な役割をするものです。

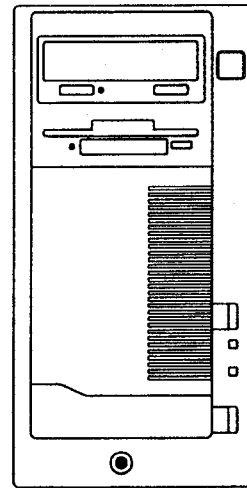


図1-2 パソコン本体

b ディスプレイ

簡単にいえばテレビです。ブラウン管に、文字や絵を映し出しています。“モニタ”とも呼びます。

機種によっては、パソコン本体にディスプレイを内蔵している場合もあります。

携帯型パソコンでは、液晶ディスプレイをパソコン本体に付けて使用しています。

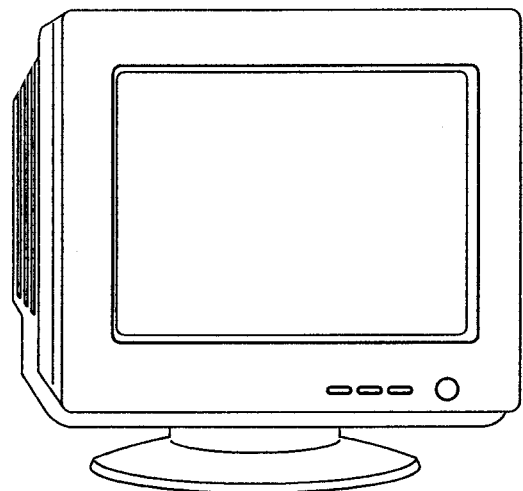


図1-3 ディスプレイ

c キーボード

パソコンにデータを入力したり、命令を与えるための入力装置です。

入力装置としては、キーボードの他にマウスが使われます。

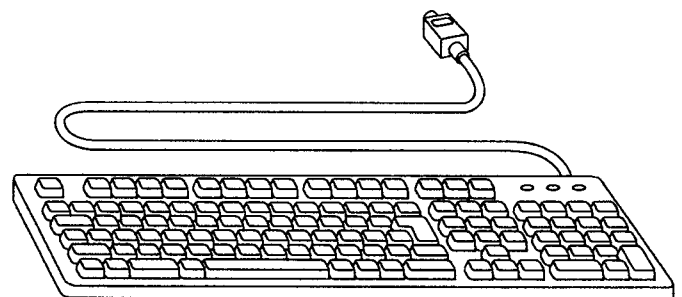


図1-4 キーボード

d マウス

マウスは、その形がネズミに似ているので“マウス”と名付けられました。キーボードをタイプするかわりに、マウスを机の上で動かし、ソフトの機能を選択するときなど、思った場所にすばやく移動ができとても便利です。

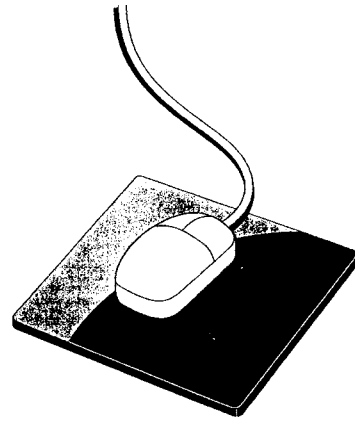


図1-5 マウス

e プリンタ

プリンタは、入力した文書やデータを紙などに印刷をするもので、ビジネスには、欠かせないものです。

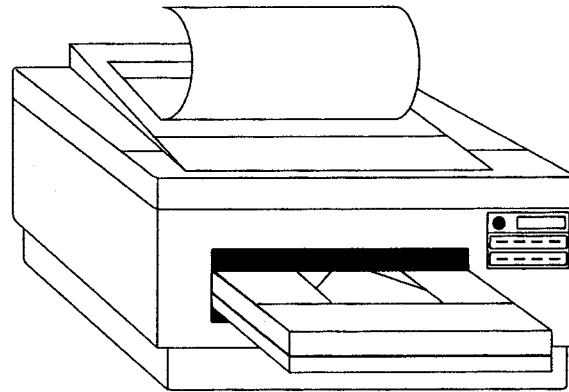


図1-6 プリンタ

(2) パソコン本体各部の名称と役割

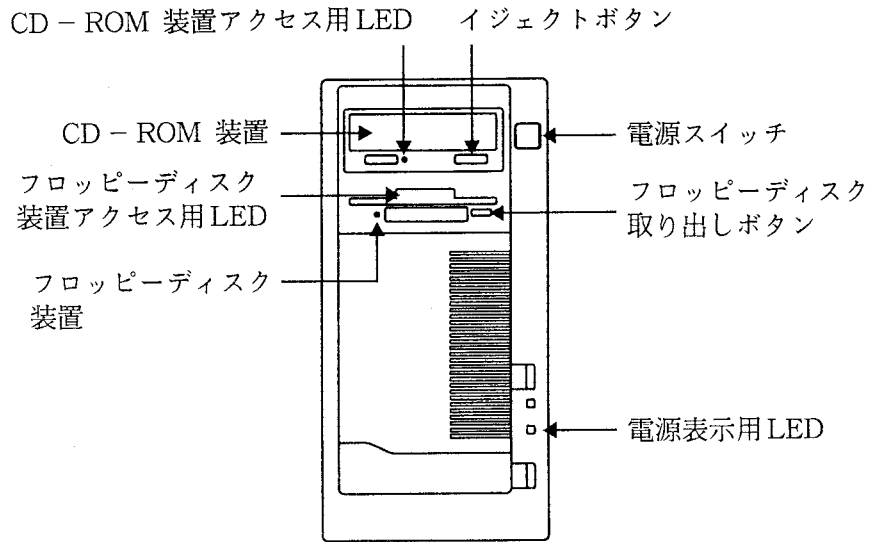


図1-7 本体各部の名称

a 電源スイッチ

本体の電源をON/OFFするスイッチです。押すと電源ON（電源表示用LED点灯）、再度押すと電源がOFFになります。

b 電源表示LED

電源ON/OFFの状態を表示するランプです。電源がONになると、LEDが点灯します。

c フロッピーディスク装置

フロッピーディスクを差し込み、プログラムやデータの読み込み・書き込みを行うための装置です。

d フロッピーディスク装置アクセス用LED

フロッピーディスクの作動中に点灯します。

e フロッピーディスク取り出しボタン

フロッピーディスクをフロッピーディスク装置に出し入れするときに使います。

f CD-ROM装置

CD-ROMを挿入し、プログラムやデータの読み込みを行うための装置です。

g CD-ROM装置アクセス用LED

CD-ROMの動作中に点灯します。

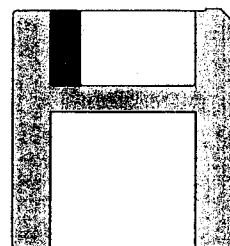
h イジェクトボタン

CD-ROMをCD-ROM装置に出し入れするときに使います。

2. フロッピーディスク

フロッピーディスクは、入力したデータを書き込んで保存したり、プログラムをコピーしたりする、コンピュータのノートやメモ用紙のようなものです。

フロッピーディスクには、表面に磁性体が塗られていて、磁気を利用して情報を記憶する円盤状の磁気シートとそれを保護するジャケットで構成されているのでフロッピーディスク（薄っぺらな円盤）と呼ばれています。



(1) フロッピーディスクの種類

フロッピーディスクの種類には、2HD（1.44MB（メガバイト）、1.2MBの記憶容量）があり、図1-8のような形状をしています。

図1-8 フロッピーディスク

(2) フロッピーディスクの挿入方法

フロッピーディスクをラベルの貼ってある面を上向きにして、ラベルが手前になるように持ち、フロッピーディスク装置にカチッと音がするまで差し込みます。この時、フロッピーディスク取り出しボタンが自動的に少し手前に出て、フロッピーディスクがロックされます。

(3) フロッピーディスクの取り出し方法

フロッピーディスク装置アクセス用のLEDが点灯していないことを確認してから、フロッピーディスク取り出しボタンを押し、フロッピーディスクを取出します。

(4) フロッピーディスクの取扱い

フロッピーディスクは、入力したデータを記憶しておくとても大切なものです。また構造的にも非常にデリケートにできているので、大切に取り扱いってください。

3. CD-ROM

CD-ROMは、音楽CDに音データの代わりにパソコンのプログラムやデータを保存した記録媒体です。

CD-ROMの「ROM」はRead Only Memoryの略で、データの読み出しのみができて、データをあとから書き込むことができない記録媒体のことです。

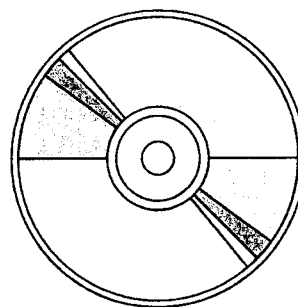


図1-9 CD-ROM

(1) CD-ROMの挿入方法

CD-ROM装置のイジェクトボタンを押します。CD-ROMをセットするトレーが出てきますので、CD-ROMのレーベル面を上にしてトレーの中央に置きます。もう一度イジェクトボタンを押すと、トレーが本体に入ります。

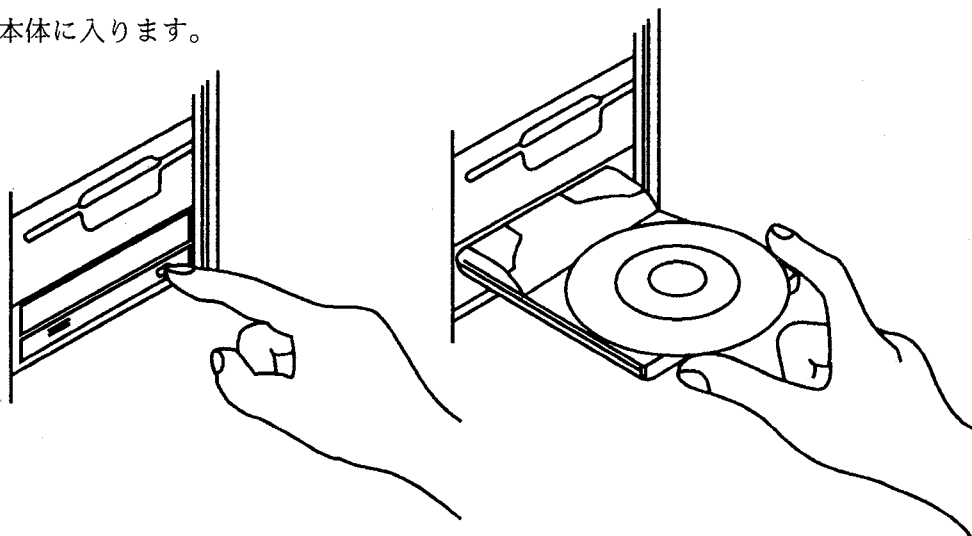


図1-10 CD-ROMの取り扱い

(2) CD-ROMの取出し方法

CD-ROMアクセス用LEDが点灯していないことを確認してから、CD-ROM装置のイジェクトボタンを押してトレーを戻します。

(3) CD-ROMの取扱い

CD-ROMは、プログラムやデータが記憶されたとても大切なものです。持つ時は緑を持ち、データ面を触ったり、傷つけたりしないで下さい。使用しない時はケースに入れて、高温・多湿にならない場所に保管して下さい。

4. キーボード

キーボードは、パソコンを利用するためには不可欠な存在です。私たちが、パソコンを利用するためには、どうしてもキーボードを使ってデータを入力したり、命令を与えなければいけません。

キーボードをうまく使うこと（正確なタイピング）は、パソコン操作の上達の「コツ」です。

(1) キーボードを打つときの姿勢

キーボードを打つとき一番大切なのは、椅子とキーボードの高さの関係と正しい姿勢です。姿勢を正しくすることが、楽しくて上達する早道です。

背中を伸ばして、楽な姿勢で椅子に座ります。このとき、足を軽く床につけます。また、片足を少し前に出すととても楽です。椅子の高さを丁度よいように調整しましょう。図1-11と図1-12を参考に正しいキーボードの位置と姿勢をつかんで下さい。

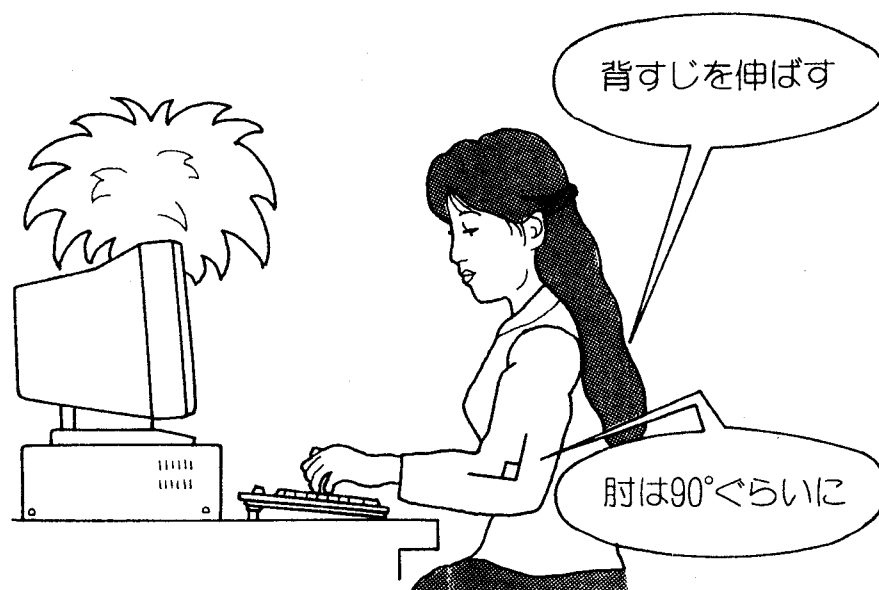


図1-11 キーボードを打つときの正しい姿勢

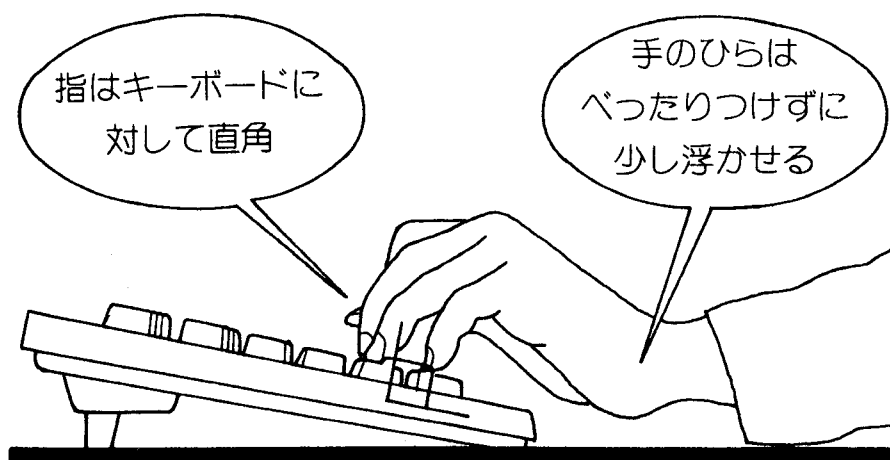


図1-12 正しい打ち方

(2) キーボードの配列

キーボード（標準 キーボード）の配列は、図1-13のとおりです。

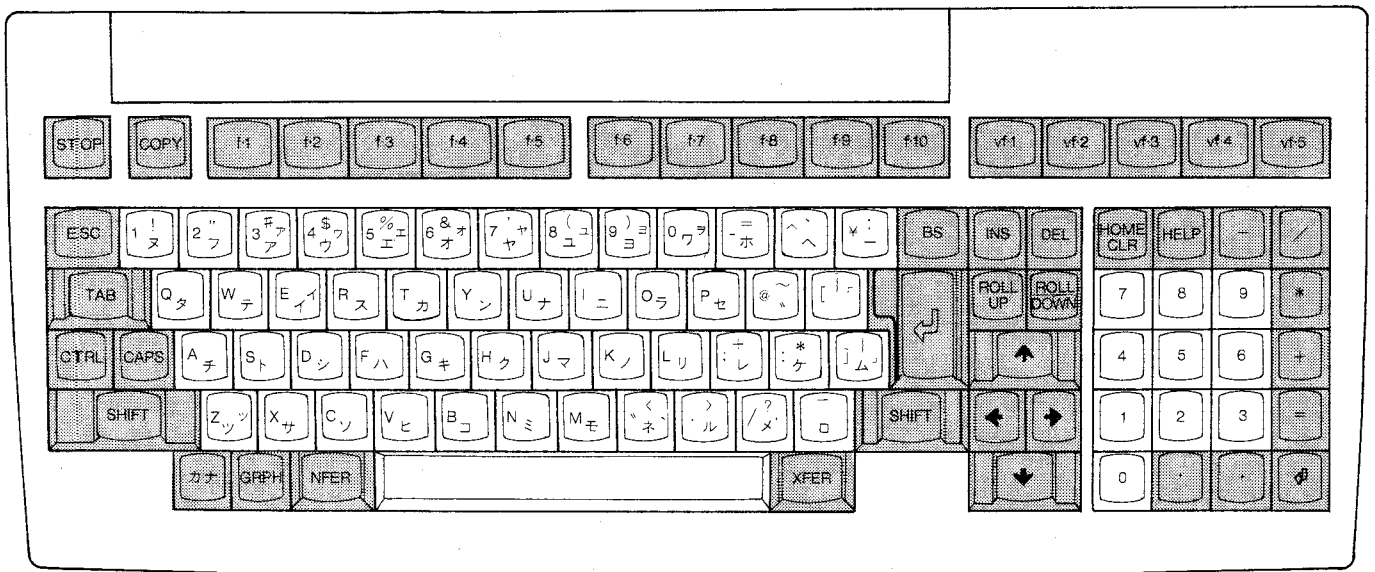


図1-13 キーボード

5. マウス

マウスは、キーボードと同様にパソコンを利用するためには不可欠な存在です。ソフトを起動したり、ソフトの機能を選択するときには使用します。目的の場所にすばやく移動して、パソコンに命令を与えることができます。

マウスをキーボードとともにうまく使うことは、パソコン操作の上達の「コツ」です。

(1) マウスの持ち方

マウスを机の上などの平らな場所に置き、人差し指は左のボタン、中指は右のボタンにかかるように手を軽くのせます。



図1-14 マウスの取扱い方

(2) マウスの動かし方

マウスを机の上に置いたまま、滑らせるように動かします。マウスの動きに合わせて、画面上の矢印が同じように動きます。画面上の矢印を「マウスポインタ」といいます。

(3) クリックの仕方

マウスポインタを目的の位置に合わせて、マウスの左ボタンをカチッと1回押して、すぐに離すことをクリックといいます。

(4) ダブルクリックの仕方

マウスポインタを目的の位置に合わせて、マウスの左ボタンをカチッカチッと2回すばやく押して、すぐに離すことをダブルクリックといいます。

(5) 右クリックの仕方

マウスポインタを目的の位置に合わせて、マウスの右ボタンをカチッと1回押して、すぐに離すことを右クリックといいます。

(6) ドラッグの仕方

マウスポインタを目的の位置に合わせて、マウスの左ボタンをカチッと1回押したまま、希望の位置まで動かして離すことをドラッグといいます。

ファイルやアイコンを引っ張って（ドラッグ）、落とす（ドロップ）といった操作に使うので「ドラッグ&ドロップ」ともいいます。